

ローカルデザイン創造委員会

委員長 堀之内 博 樹
副委員長 神 脇 清 太
委員 鬼 束 麻 里 ・ 川 内 賢 幸 ・ 坂 下 真 太 郎
津 貫 嗣 宝 ・ 温 水 智 久 ・ 藤 岡 将 弘
二 見 康 之 ・ 室 田 直 人

【基本方針】

私たちが住み暮らす都城圏域は、人口流出や少子高齢化により労働生産性が減少し、そして経済活動の縮小など、私たちを取り巻く環境は常に激動の中にあります。まちを活性化させ、持続可能で豊かな都城圏域を創造するために、歴史や伝統といった文化的資源を継承しつつ、南九州において必要とされる広域交流拠点都市としての魅力を発信していけるよう、JCの運動と時代のニーズを合わせ、新たな取り組みを創出する必要があります。

まずは、地域の特性と時代のニーズを融合したまちづくりを実現する為に、受け継がれてきた歴史や伝統、潜在する資源や文化を活かすとともに行政や企業と共同し、既成概念にとられない閃きで付加価値を高め、この都城圏域をより魅力的に感じるまちづくりを行います。そして、地域の方々に潜在する資源や文化を実感・体験してもらうことで、この圏域の素晴らしさを再発見し、郷土愛溢れる事業を構築します。さらに、自らがまちの魅力を発見し共有することで圏域の交流人口が増え、人があふれる活発的で持続可能なまちづくりに貢献できる機会を創出します。つぎに、「肉と焼酎のふるさと・みやこんじょ花火大会」では、焼肉カーニバルと共催し、昨年までの経験をもとにブラッシュアップすることで、この圏域の魅力を圏域内外に発信します。また、行政・各種団体と共同するとともに、この圏域の方々に参画できる機会を設け、一体感のある花火大会を構築します。そして、より魅力的で安心・安全な花火大会を実現する為に、会場選定も視野に入れながらこの圏域の方々を対象に意識調査を実施し、課題を抽出することで、次年度に繋げます。

我々青年会議所が、圏域のリーダーとして率先して新たな取り組みに挑戦することで、都城圏域の住民自らが魅力的なまちとして活発的に活動する機会が創出され、人が集まる南九州におけるリーディングシティとなる、持続可能な社会が実現することを確信します。

【事業計画】

1. 地域活性化例会の実施
2. 「肉と焼酎のふるさと・みやこんじょ花火大会」の実施
3. 「肉と焼酎のふるさと・みやこんじょ花火大会」の市民意識調査
4. 京都会議への参加企画
5. 盆地まつりへの共催事業の実施
6. 島津発祥まつりへの協力支援窓口
7. 第46回宮崎ブロック大会実施への参画
8. 日本本会・九州地区協議会・宮崎ブロック協議会、及び出向者への協力支援
9. 共催事業への協力支援
10. 会員拡大 [最重要]